

婚活実態調査2023

**独身者^(※)における婚活サービス利用者で
恋人ができた割合は49.5%で過去最高を記録
2022年の婚姻者のうち、婚活サービスを利用して結婚した人は15.4%**

※恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない20~40代独身者

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）が運営する『リクルートブライダル総研』では、婚活の実態について詳細を把握するため、「婚活実態調査2023」を実施しました。ここに、結果の要旨をご報告致します。

2022年の婚姻者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人の割合は15.4%（P4-7）

- 2022年の婚姻者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人の割合は15.4%となっており、その内訳ではネット系婚活サービスを通じて結婚した割合が最も高かった。
- 2022年の婚姻者のうち、婚活サービスを利用していた人は32.7%。その婚活サービス利用者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人の割合は47.0%で、利用者の約2人に1人が結婚に至っていた。
- 2022年における広義の婚活を通して結婚した人を母集団とした際に、利用サービス、活動ごとで結婚相手との出会いは、婚活サイト(44.0%)、結婚相談所(38.5%)、知人紹介(23.4%)、SNSで興味のあるコミュニティに参加(17.9%)、趣味や習い事(16.7%)、婚活パーティ・イベント(16.4%)の順。婚活サイトを利用して結婚した人の割合が最も高い。

恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者の25.2%に婚活サービス利用経験あり、婚活サービス利用によって恋人ができた割合は49.5%で過去最高(P8-11)

- 恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者において、25.2%が婚活サービスの利用経験があると回答。
- 2022年において、婚活サービス利用によって恋人ができた割合は49.5%となっており、4年連続上昇し、過去最高。
- 婚活サービスを新規で利用を開始し、恋人ができた割合も3年連続上昇。2022年に新規で利用を開始した婚活サービス利用者のうち、18.7%が恋人ができたと回答。

周囲に婚活サービス利用経験者や利用により恋人ができた、結婚した人がいる人は、いない人よりも自身の婚活サービス利用経験割合が高い（P12）

- 周囲に婚活サービス「利用経験者がいる人」の自身の婚活サービス利用経験出現率は、「いない人」の約3.2倍。
- 周囲に婚活サービスで「恋人ができた人がいる人」の自身の婚活サービス利用経験出現率は、「いない人」の約3.7倍。
- 周囲に婚活サービスで「結婚した人がいる人」の自身の婚活サービス利用経験出現率は、「いない人」の約3.8倍。

婚活サービス非利用者における婚活サービスに対するポジティブなイメージは向上（P13）

- 「今後、『婚活サービス』を利用する人は周りで増えていきそう」「『婚活サービス』では、自分の理想の人に会えると思う」と答えた人の割合は、それぞれ長期的に増加。

■2023年調査（2022年のデータ） 1次調査

- 【調査方法】 インターネットによるアンケート調査
- 【調査期間】 2023年5月19日(金)～2023年5月22日(月)
- 【調査対象】 全国の20～49歳の男女
- 【有効サンプル数】 50,000サンプル

（調査にて120,000サンプルを回収し、その中から令和2年国勢調査結果（総務省統計局）をもとに、未婚×性別×年代（5歳刻み）24セルの人口構成比に合わせて50,000サンプルを抽出した）

■2023年調査 2次調査

- 【調査方法】 インターネットによるアンケート調査
- 【調査期間】 2023年5月25日(木)～2023年6月5日(月)
- 【調査対象】 <共通条件>

全国の20～49歳の男女で現在独身者（1次調査回答者）

※独身者とは、結婚経験のない未婚者および結婚経験のある（死別・離別の）現在未婚者

<個別条件>

- ・婚活サービス利用者（現在利用者・過去利用者）：直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人
- ・婚活サービス非利用者：婚活サービスを利用したことがなく、「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人

- 【有効サンプル数】 2,000サンプル

本調査では、婚活サービス利用有無・性別・年代・未婚状況別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に、実際の婚活サービス利用有無（1次調査）、性別・年代・未婚状況別の人口構成（令和2年国勢調査結果（総務省統計局））に合わせるために、サンプルに重みづけを行った（ウェイトバック集計）

ウェイトバックに使用した補正値は、1次調査を用いて各セルの出現率をもとに算出した

<本調査回収サンプル構成>

利用者								非利用者											
結婚経験なし						結婚経験あり（死別・離別）				結婚経験なし						結婚経験あり（死別・離別）			
子なし						子あり				子なし						子あり			
男性			女性			男性	女性	男性	女性	男性			女性			男性	女性	男性	女性
20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代		20～40代		20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代		20～40代	
150	150	150	176	177	97	51		48		150	150	150	150	150	150	50		51	



<ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成（全体構成比）>

60	20	6	44	12	5	8	12	401	255	267	378	175	184	66	109
(3.0%)	(1.0%)	(0.3%)	(2.2%)	(0.6%)	(0.2%)	(0.4%)	(0.6%)	(20.0%)	(12.7%)	(13.3%)	(18.9%)	(8.8%)	(9.2%)	(3.3%)	(5.4%)

※ウェイトバックによる補正を行っているため、補正後サンプル数に小数点が発生していますが、四捨五入して整数表記をしています。そのため、サンプル数の合計と誤差が生じておりますが、ご了承ください。
人口構成比算出元データ 令和2年国勢調査結果（総務省統計局）より

■過去実施調査（2016～2022年調査）

【調査方法】	1次調査		2次調査		
	2022年調査 2021年調査 2020年調査 2019年調査 2018年調査 2017年調査 2016年調査	インターネットによるアンケート調査		インターネットによるアンケート調査	
【調査期間】	2022年調査	2022年6月3日（金）～2022年6月5日（日）	2022年6月10日（金）～2022年6月16日（木）		
	2021年調査	2021年5月28日（金）～2021年6月3日（木）	2021年6月5日（土）～2021年6月10日（木）		
	2020年調査	2020年5月15日（金）～2020年5月19日（火）	2020年5月22日（金）～2020年5月24日（日）		
	2019年調査	2019年5月20日（月）～2019年5月27日（月）	2019年5月27日（月）～2019年5月31日（金）		
	2018年調査	2018年5月14日（月）～2018年5月22日（火）	2018年5月24日（木）～2018年6月6日（水）		
	2017年調査	2017年5月16日（火）～2017年5月23日（火）	2017年5月19日（金）～2017年5月23日（火）		
	2016年調査	2016年3月19日（土）～2016年3月29日（火）	2016年3月25日（金）～2016年3月29日（火）		
【調査対象者】	2022年調査 2021年調査 2020年調査 2019年調査 2018年調査 2017年調査 2016年調査	全国の20～49歳の男女		<共通条件> 全国の20～49歳の男女で現在独身者（1次調査回答者） <個別条件> ・婚活サービス利用者（現在利用者・過去利用者）： 直近3年以内に婚活サービスを利用したことがある人 ・婚活サービス非利用者： 婚活サービスを利用したことがなく、 「恋愛意向」もしくは「結婚意向」がある人	
	【有効サンプル数】	2022年調査 2021年調査 2020年調査 2019年調査 2018年調査 2017年調査 2016年調査	50,000サンプル		2,400サンプル

利用者								非利用者							
結婚経験なし				結婚経験あり（死別・離別）				結婚経験なし				結婚経験あり（死別・離別）			
子なし				子あり		子なし		子なし				子あり		子なし	
男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代	20代	30代	40代	20代	30代	40代	20～40代	20～40代
<2022年本調査回収サンプル構成>															
150	150	150	170	170	110	149	149	150	150	150	150	150	150	151	151
<2022年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>															
79	22	7	53	15	5	10	18	469	308	318	460	221	221	80	112
(3.3%)	(0.9%)	(0.3%)	(2.2%)	(0.6%)	(0.2%)	(0.4%)	(0.8%)	(19.5%)	(12.9%)	(13.2%)	(19.2%)	(9.2%)	(9.2%)	(3.3%)	(4.7%)
<2021年本調査回収サンプル構成>															
150	150	150	172	172	106	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
<2021年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>															
82	25	10	68	20	4	7	10	491	338	310	428	223	216	81	87
(3.4%)	(1.0%)	(0.4%)	(2.8%)	(0.8%)	(0.1%)	(0.3%)	(0.4%)	(20.4%)	(14.1%)	(12.9%)	(17.8%)	(9.3%)	(9.0%)	(3.4%)	(3.6%)
<2020年本調査回収サンプル構成>															
150	150	150	161	176	113	150	130	150	150	150	150	150	150	150	170
<2020年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>															
97	36	15	84	35	9	10	13	477	329	297	433	214	204	70	76
(4.0%)	(1.5%)	(0.6%)	(3.5%)	(1.5%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.6%)	(19.9%)	(13.7%)	(12.4%)	(18.0%)	(8.9%)	(8.5%)	(2.9%)	(3.2%)
<2019年本調査回収サンプル構成>															
150	150	150	158	158	134	150	136	150	150	150	150	150	150	157	157
<2019年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>															
80	36	15	77	39	9	11	14	489	328	289	436	216	202	70	87
(3.3%)	(1.5%)	(0.6%)	(3.2%)	(1.6%)	(0.4%)	(0.4%)	(0.6%)	(20.4%)	(13.7%)	(12.1%)	(18.2%)	(9.0%)	(8.4%)	(2.9%)	(3.6%)
<2018年本調査回収サンプル構成>															
150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
<2018年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>															
53	26	11	58	28	5	6	5	508	338	292	449	226	209	88	98
(2.2%)	(1.1%)	(0.5%)	(2.4%)	(1.2%)	(0.2%)	(0.3%)	(0.2%)	(21.2%)	(14.1%)	(12.2%)	(18.7%)	(9.4%)	(8.7%)	(3.7%)	(4.1%)
<2017年本調査回収サンプル構成>															
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	250	250
<2017年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>															
38	26	9	54	29	6	6	5	528	338	290	456	226	204	27	61
(1.6%)	(1.1%)	(0.4%)	(2.2%)	(1.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(0.2%)	(22.0%)	(14.1%)	(12.1%)	(19.0%)	(9.4%)	(8.5%)	(1.1%)	(2.6%)
<2016年本調査回収サンプル構成>															
100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	250	250
<2016年調査ウェイトバック補正後の本調査サンプル構成>															
44	33	8	62	36	6	9	6	534	372	220	476	224	138	38	100
(1.8%)	(1.4%)	(0.3%)	(2.6%)	(1.5%)	(0.3%)	(0.4%)	(0.3%)	(22.3%)	(15.5%)	(9.2%)	(19.8%)	(9.3%)	(5.8%)	(1.6%)	(4.2%)

※2023年調査と同様にウェイトバック集計を行った。人口構成比算出元データについて、2022年調査は令和2年国勢調査結果（総務省統計局）、2021年調査、2020年調査、2019年調査、2018年調査、2017年調査は平成27年国勢調査結果（総務省統計局）、2016年調査は平成22年国勢調査結果（総務省統計局）。

<その他>

※P5下のグラフは2019年調査（2018年婚姻）より集計方法を変更しています。同条件とするために、2018年以前調査を過去に遡及して再集計を行ったため、2018年調査までの公表数値と異なります。

※小数点以下第二位を四捨五入している関係で、差分や合計値において、グラフ上の数値の単純計算と数値が異なる場合があります。

婚活サービスを通じて結婚した人の割合

2022年の婚姻者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人は15.4%。
特にネット系婚活サービスを通じて結婚した割合が高い。

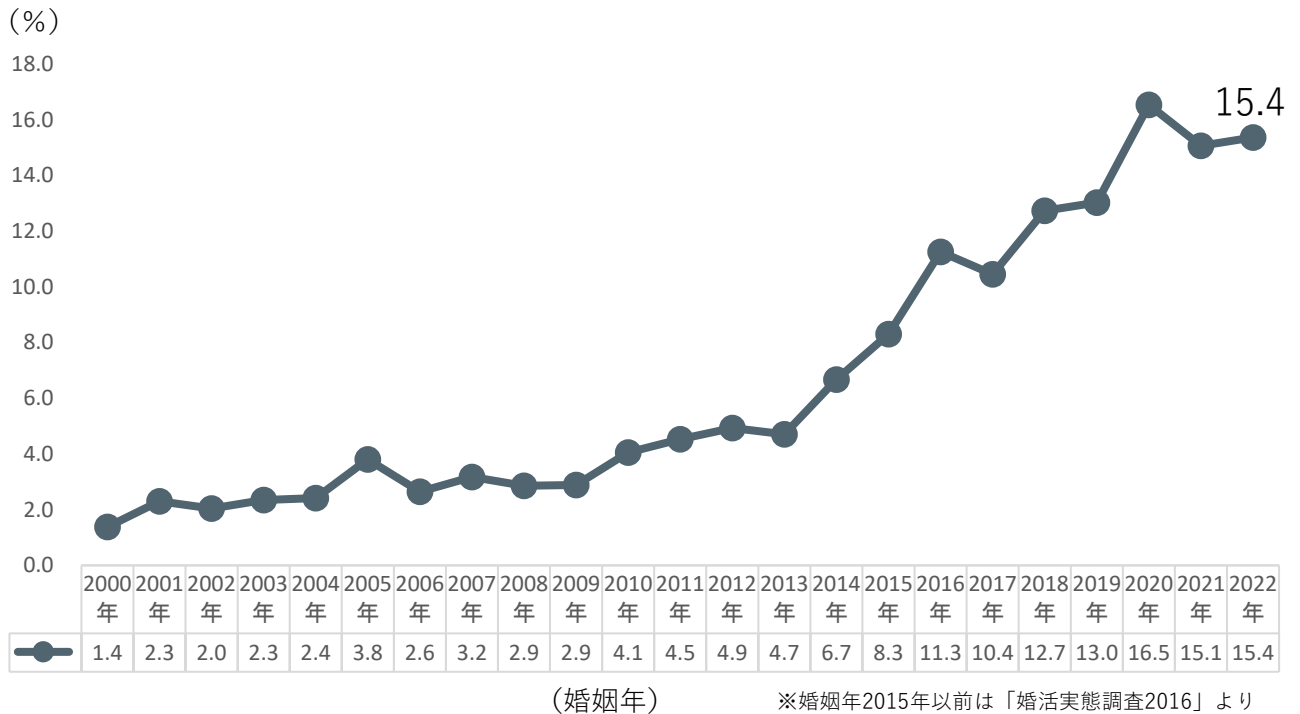
■ 婚活サービスを通じて結婚した人の割合

(1次調査/各年に結婚した人/単一回答)

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

※婚活サービス（3サービス）のいずれかを利用し、そのサービスで「結婚できた」と回答した人の割合

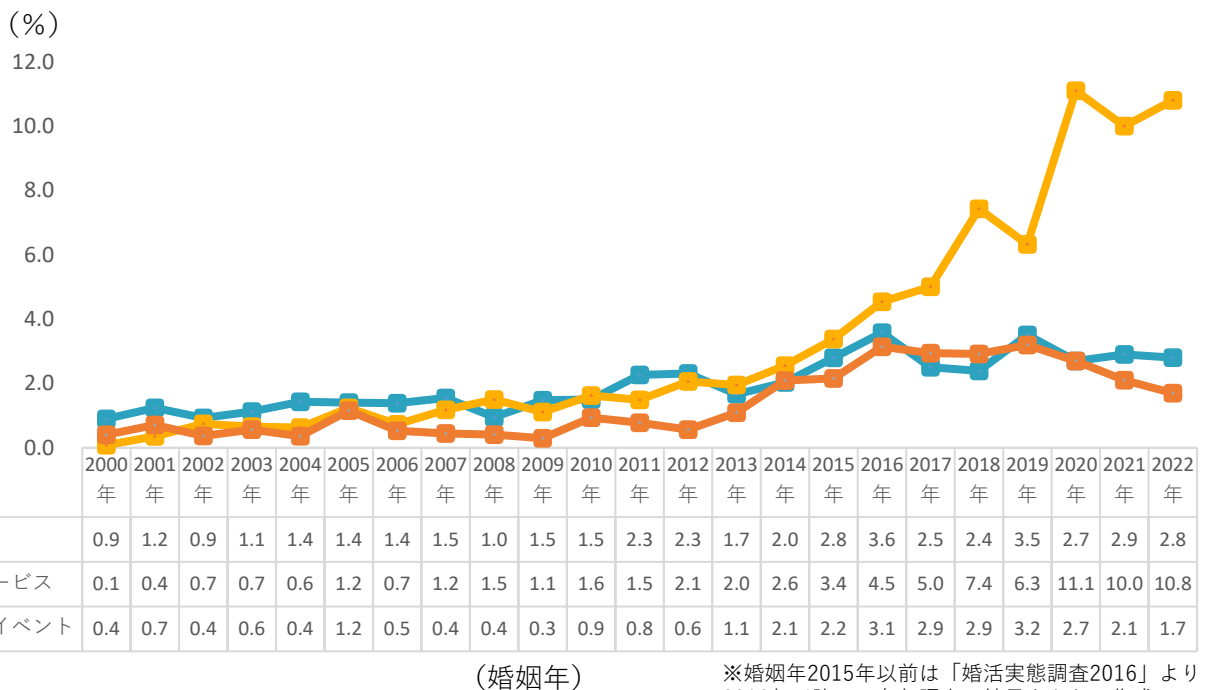
※既婚者：初婚者および再婚者も含む



※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」より
2016年以降は、各年調査の結果をもとに作成

■ 婚活サービスごとの婚活サービスを通じて結婚した人の割合

(1次調査/婚活サービスごと/各年に結婚した人/単一回答)

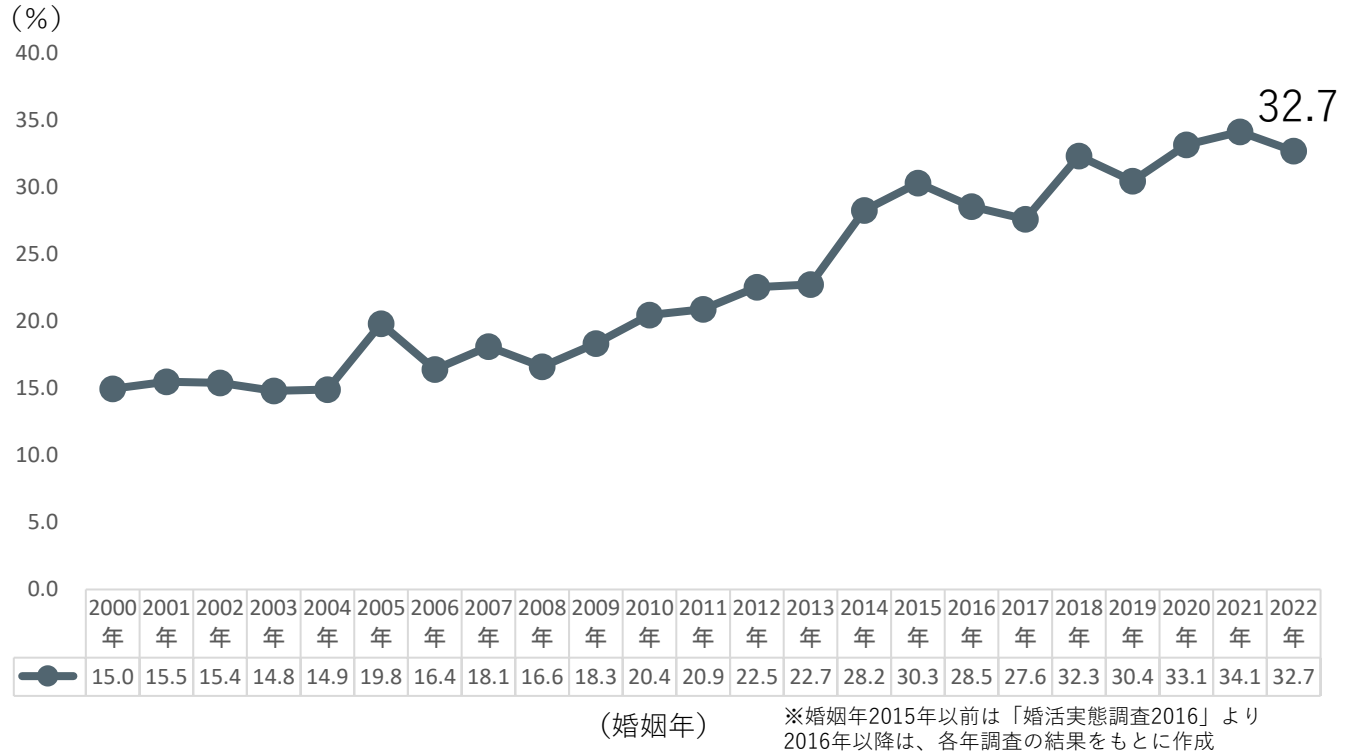


※婚姻年2015年以前は「婚活実態調査2016」より
2016年以降は、各年調査の結果をもとに作成

2022年の婚姻者のうち、婚活サービスを利用していた人は32.7%。
 婚活サービス利用者のうち、婚活サービスを通じて結婚した人の割合は47.0%。
 婚活サービスを利用していた人の約2人に1人が結婚に至っていた。

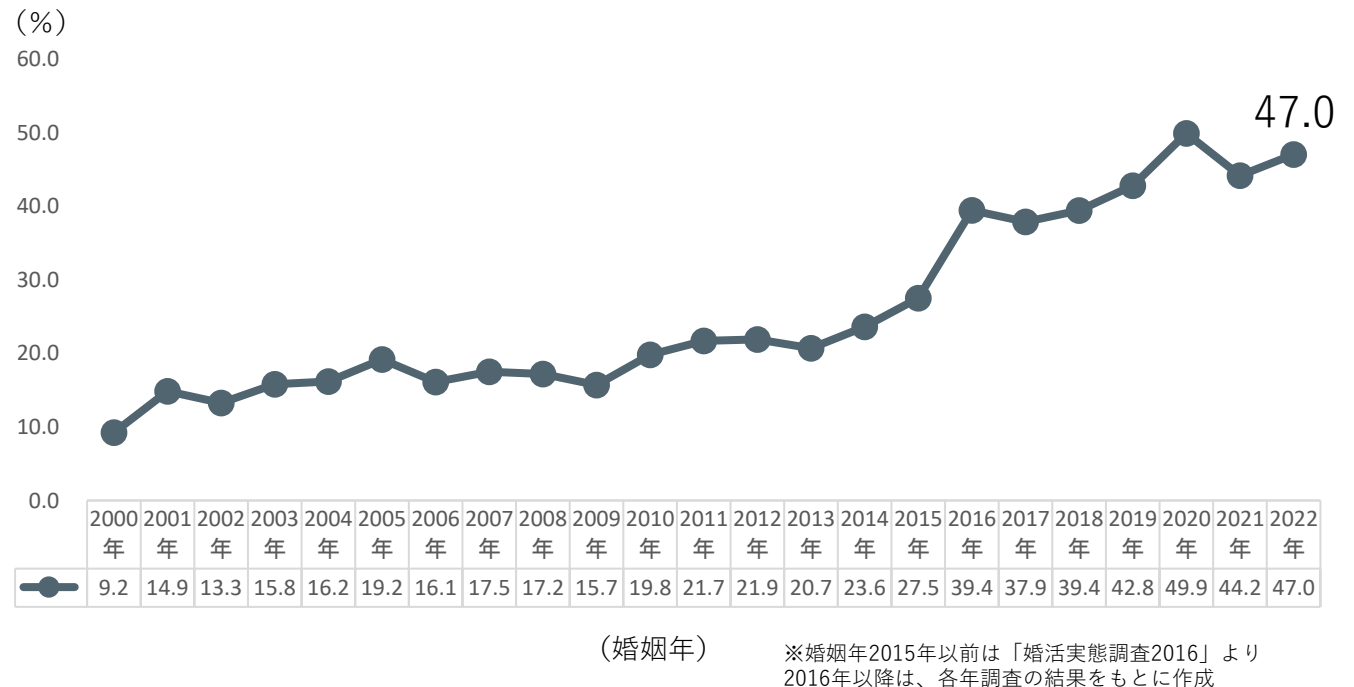
■ 各年に結婚した人のうち、婚活サービスを利用していた人の割合

(1次調査/各年に結婚した人/単一回答)

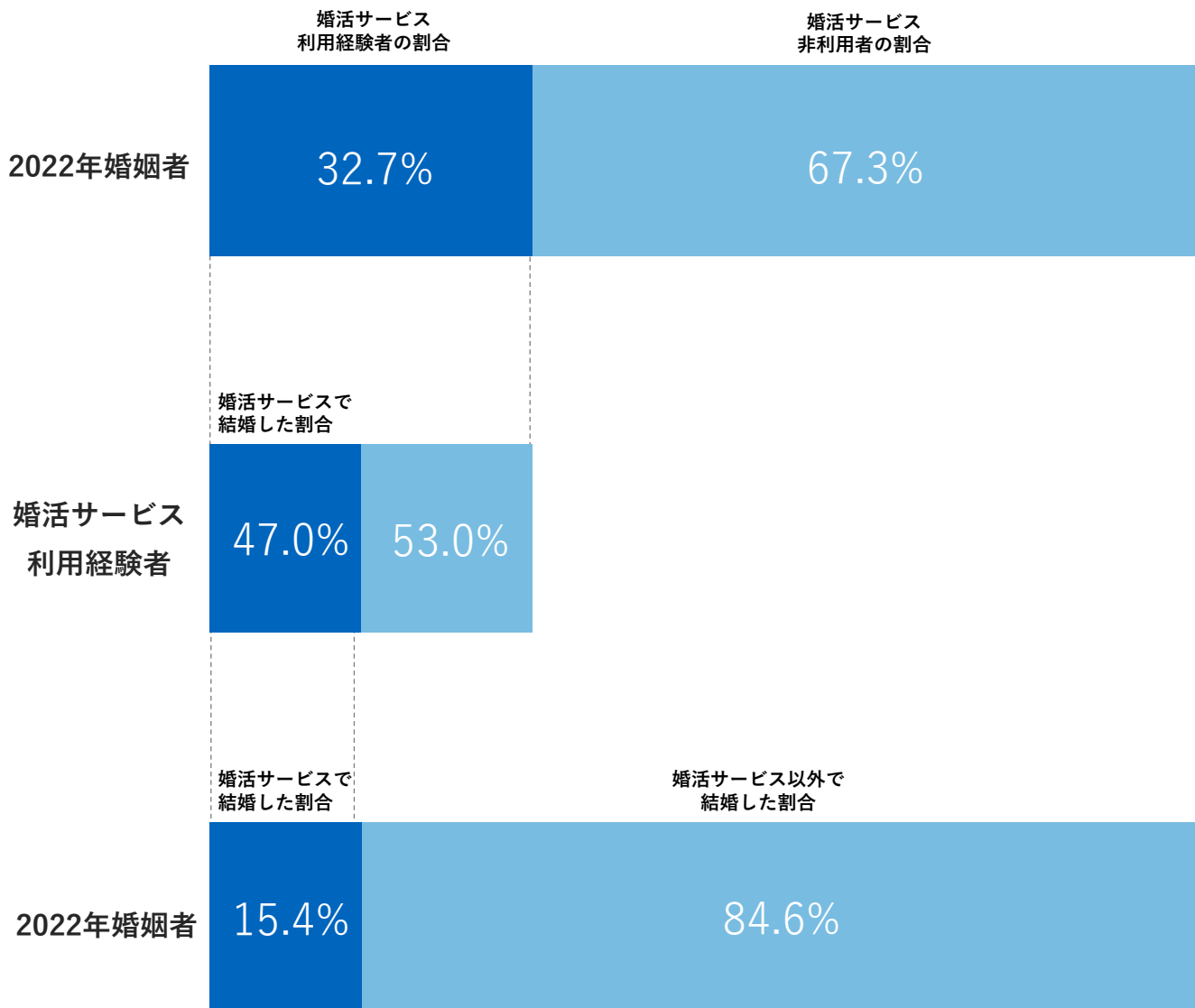


■ 婚活サービスを利用していた人のうち、婚活サービスを通じて結婚した人の割合

(1次調査/各年に結婚した人のうち、いずれかの婚活サービス利用者/単一回答)



【P4・P5：2022年の婚姻者のうち婚活サービスを通じて結婚した人の割合に関する構造図】



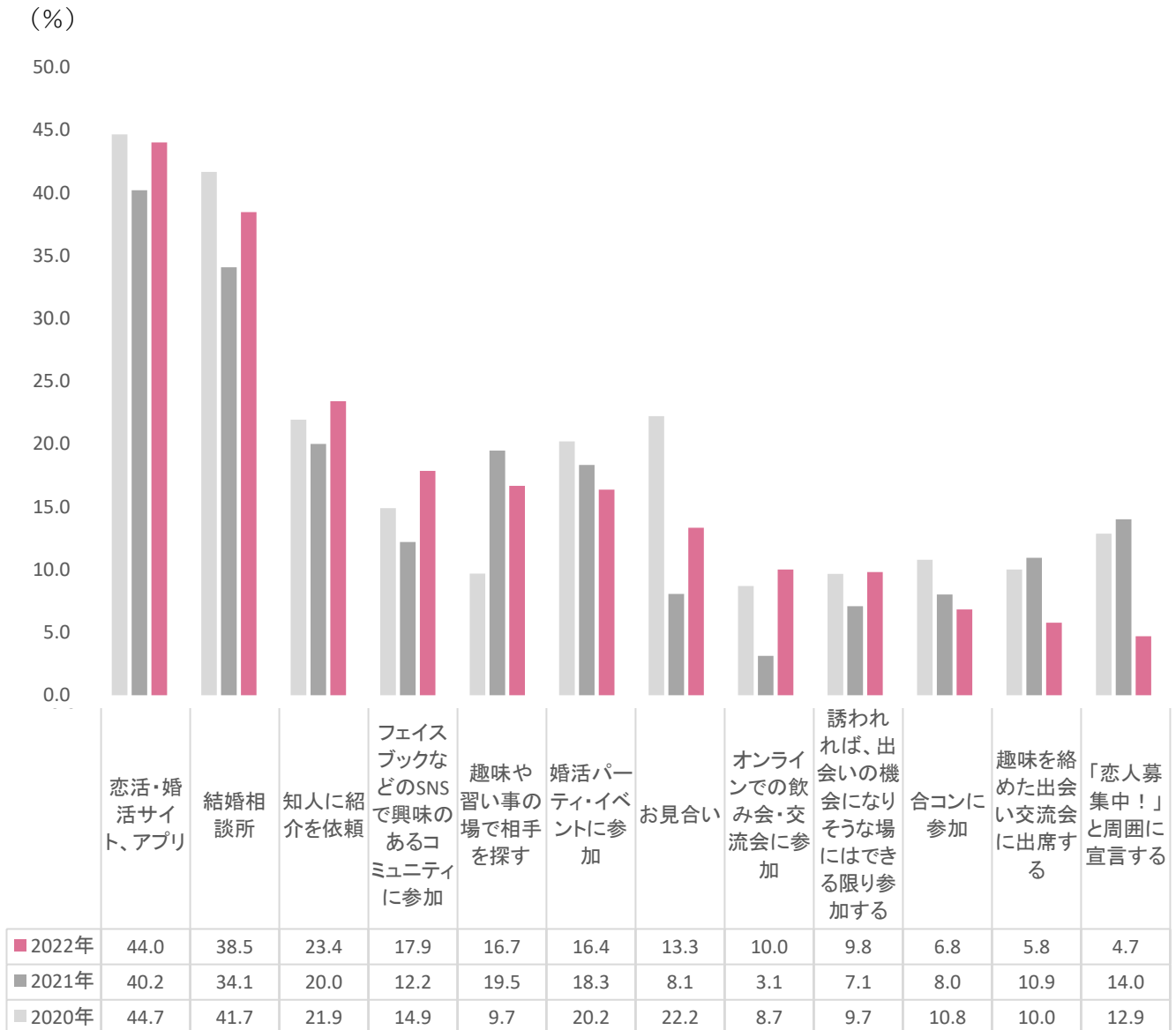
広義の婚活実施（利用）ごとの結婚した人の割合

2022年における広義の婚活を通して結婚した人を母集団とした際に、利用サービス、活動ごとで結婚相手との出会いは、婚活サイト(44.0%)、結婚相談所(38.5%)、知人紹介(23.4%)、SNSで興味のあるコミュニティに参加(17.9%)、趣味や習い事の場合(16.7%)、婚活パーティ・イベント(16.4%)の順。

婚活サイトを利用して結婚した人の割合が最も高い。

■ 実施（利用）した婚活によって、結婚した人の割合

(1次調査/各年に結婚した人のうち、各婚活を実施（利用）した 既婚者/各項目単一回答)



(婚姻年)

独身者の婚活サービスの利用経験（全体・性年代別）

恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者において、婚活サービスの利用経験は25.2%で昨年からはほぼ横ばい。

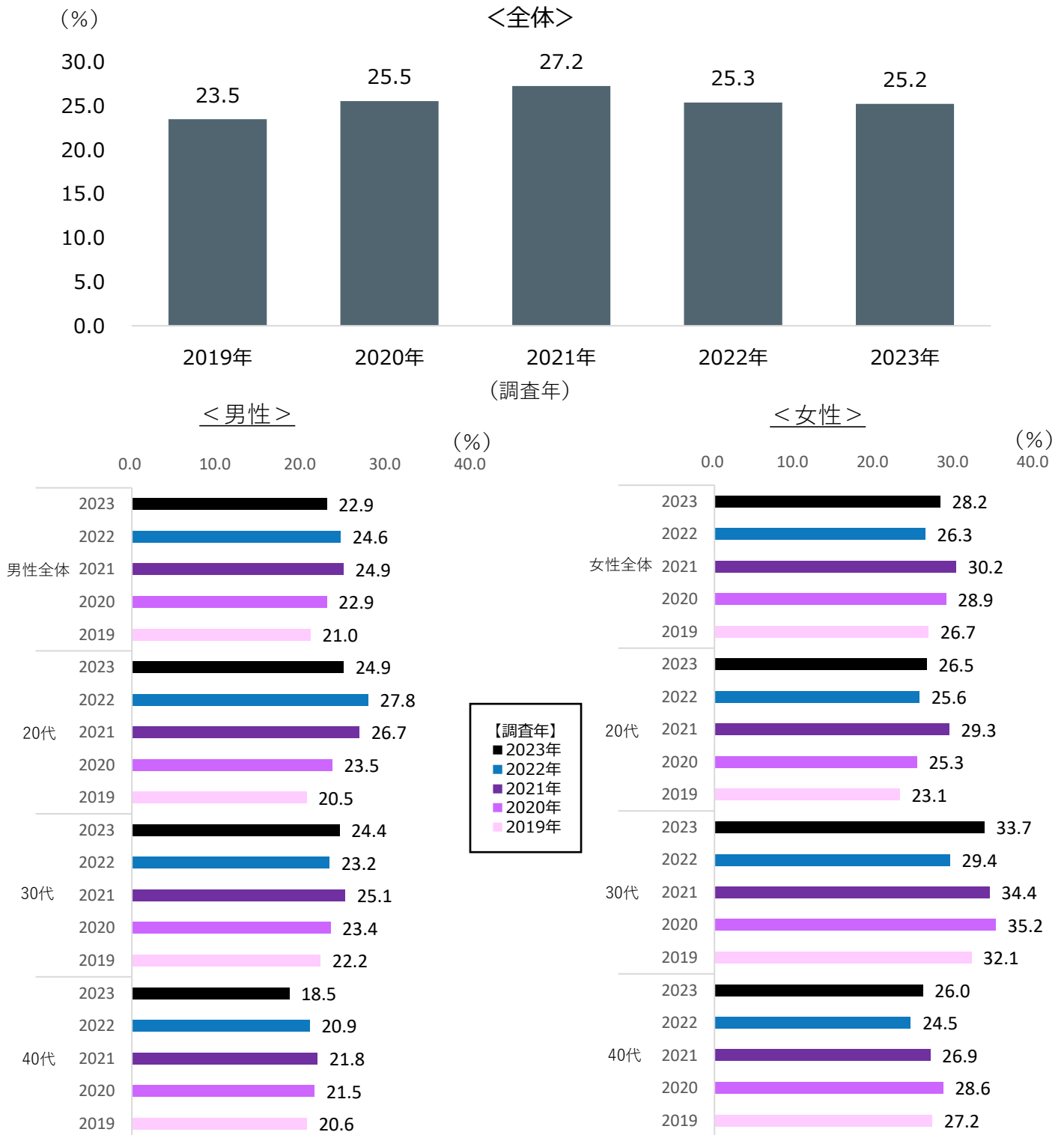
利用経験割合は、女性の全ての年代で、昨年比から上昇した。

■ 婚活サービスの利用経験割合【全体・性年代別】

（1次調査/恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/単一回答）

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

※独身者：結婚経験のない未婚者および結婚経験のある（死別・離別の）現在独身者

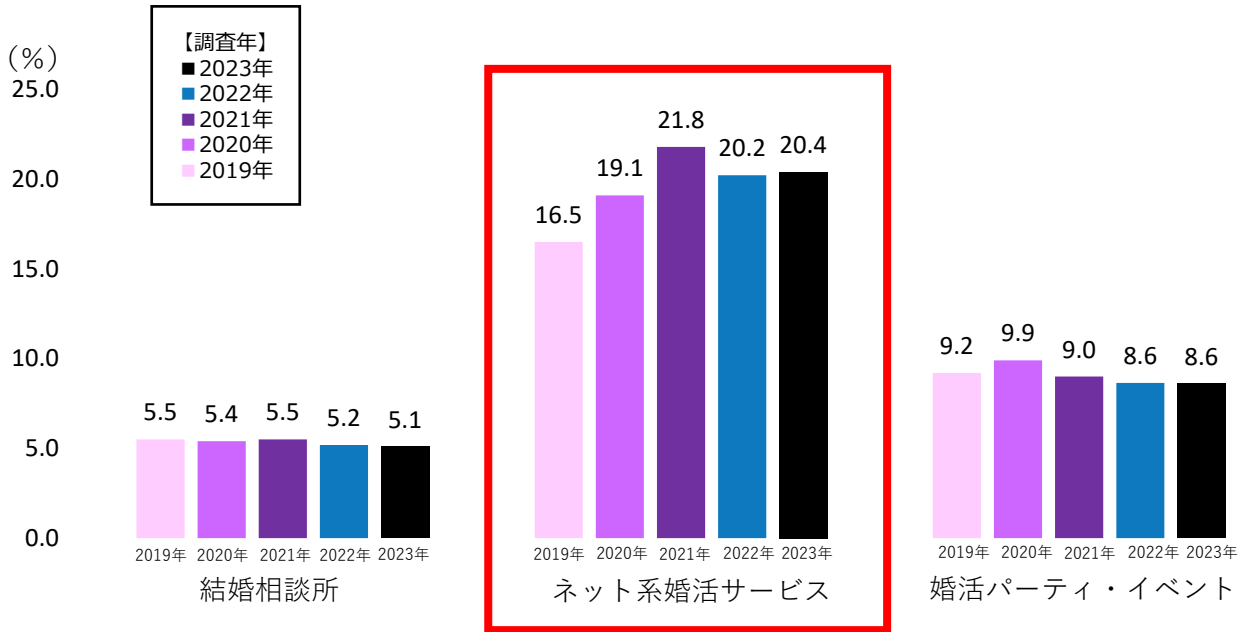


独身者の婚活サービスの利用状況（サービス別×性別）

婚活サービスごとに利用経験割合をみると、ネット系婚活サービスの利用割合が高い。
男女どちらにおいてもネット系婚活サービス利用割合が高くなっている。

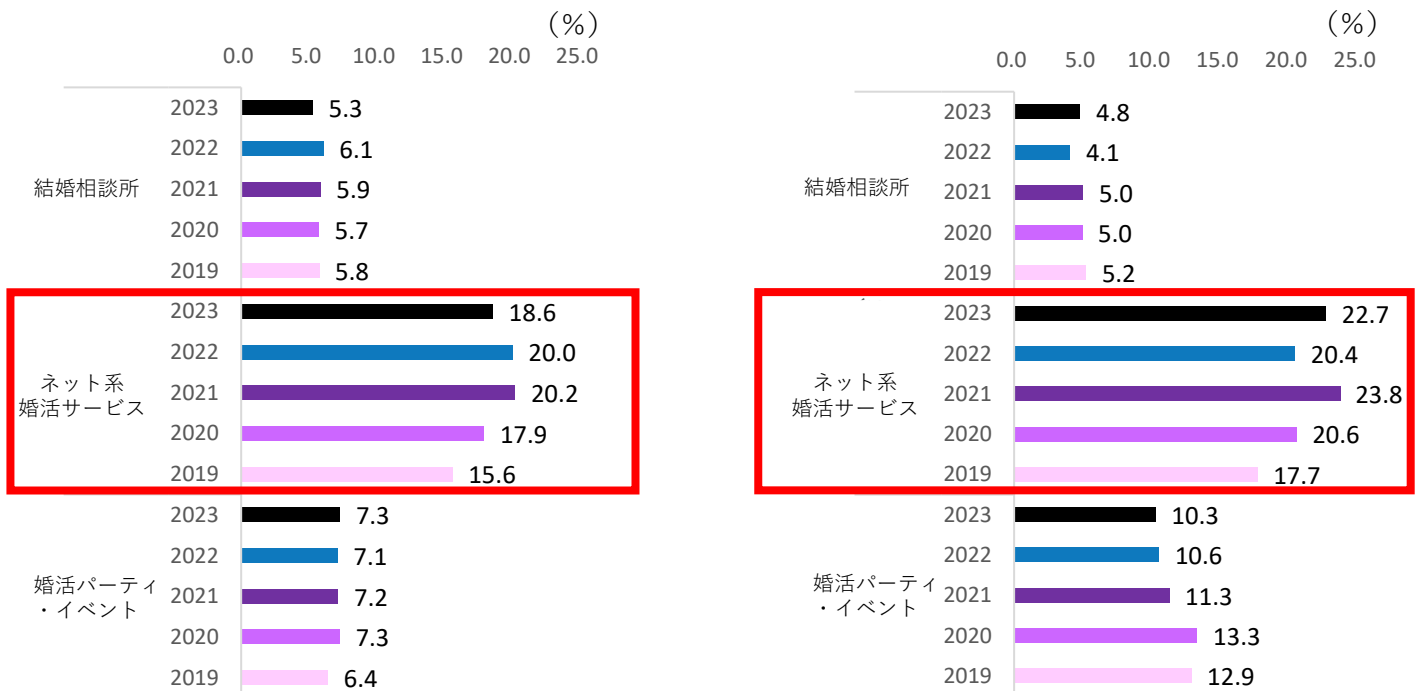
■ 各婚活サービスの利用経験割合【全体・性別】

（1次調査/恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/複数回答）



<男性>

<女性>



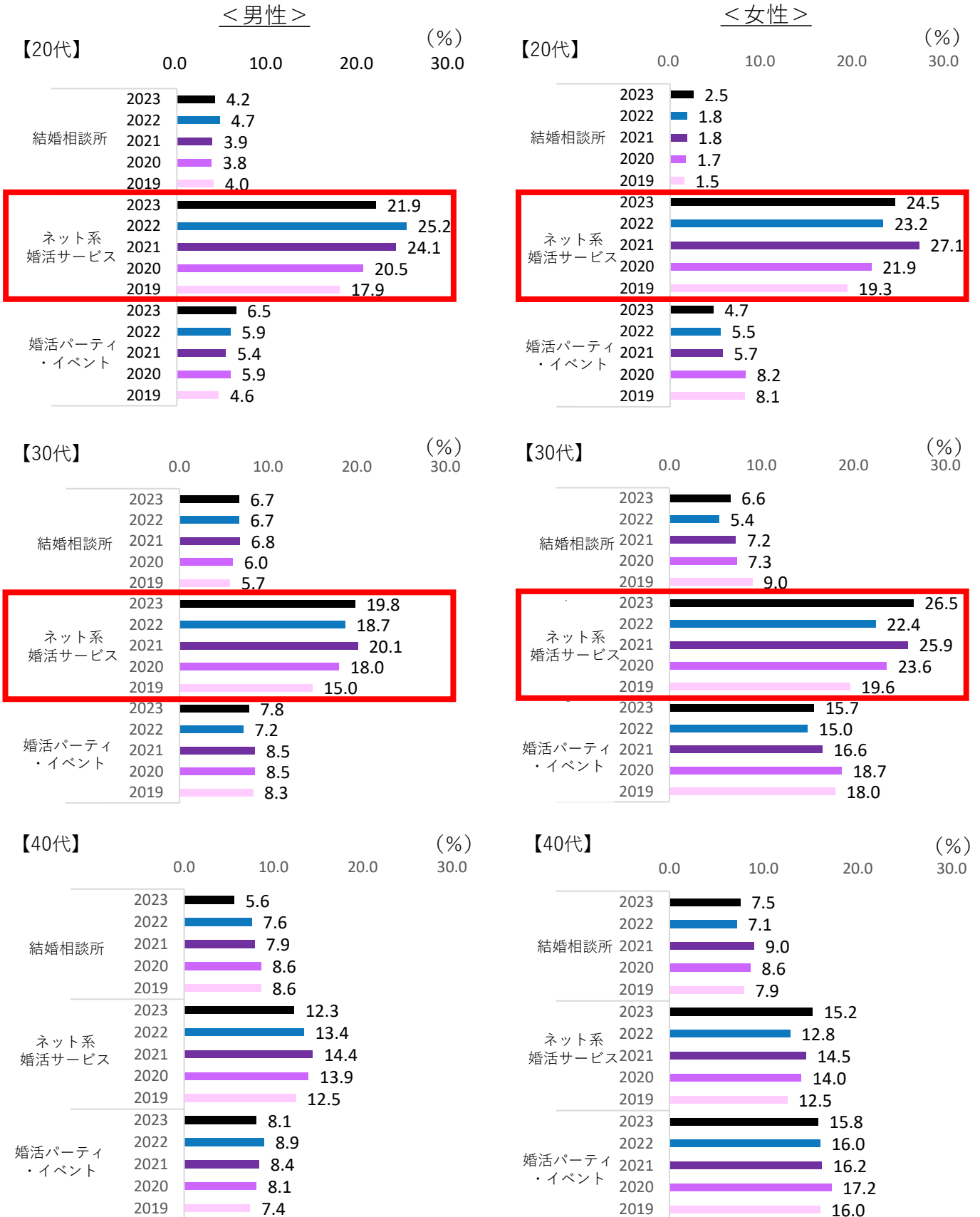
独身者の婚活サービスの利用状況（サービス別×性年代別）

婚活サービスごとに性年代別の利用経験割合をみると、20・30代においてはネット系婚活サービスの割合が男女共に高くなっている。

30代・40代女性のネット系婚活サービス利用者は過去最高。

■ 各婚活サービスの利用経験割合【性年代別】

（1次調査/恋愛もしくは結婚意向がある恋人のいない独身者/複数回答）



独身者の婚活サービス利用における恋人ができた割合

各年の婚活サービスを利用して恋人ができた割合は4年連続上昇。2022年の利用者については、49.5%となっており、過去最高。

各年に婚活サービスの新規利用を開始し、恋人ができた割合も3年連続上昇している。2022年に新規で利用を開始した婚活サービス利用者のうち、18.7%が恋人ができたと回答。

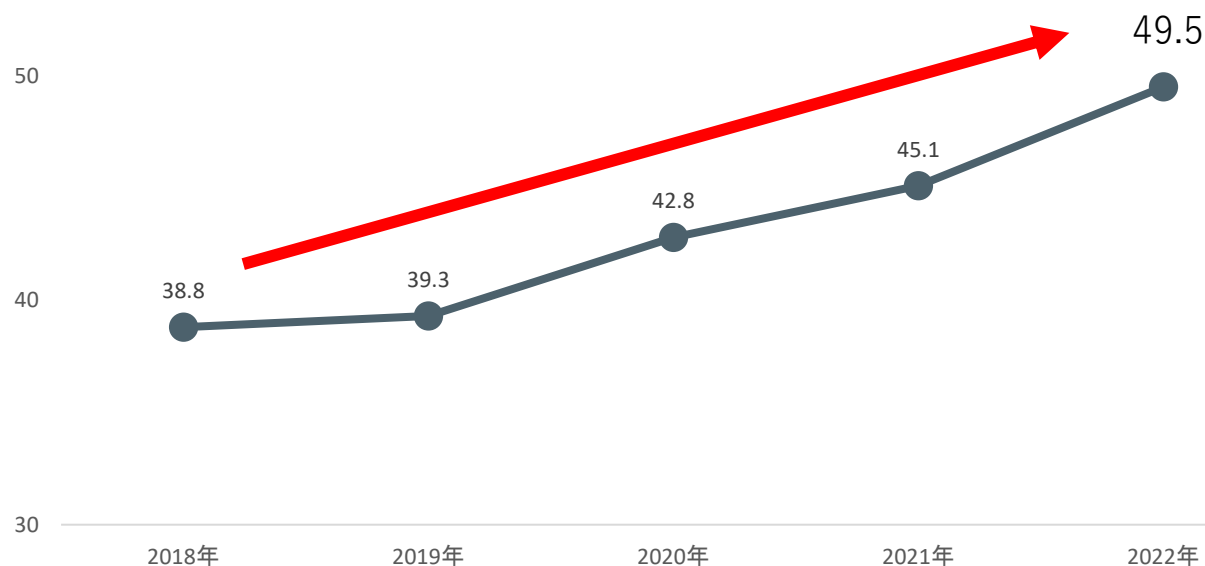
■ 各年の婚活サービス利用者における恋人ができた割合

(1次調査/各年の恋愛もしくは結婚意向のある婚活サービス利用中および利用経験のある独身者/それぞれ単一回答)

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

※各調査年の前年12月末時点で結婚していない、恋愛もしくは結婚意向がある独身者の年間を通じた利用割合をもとに算出

(%)



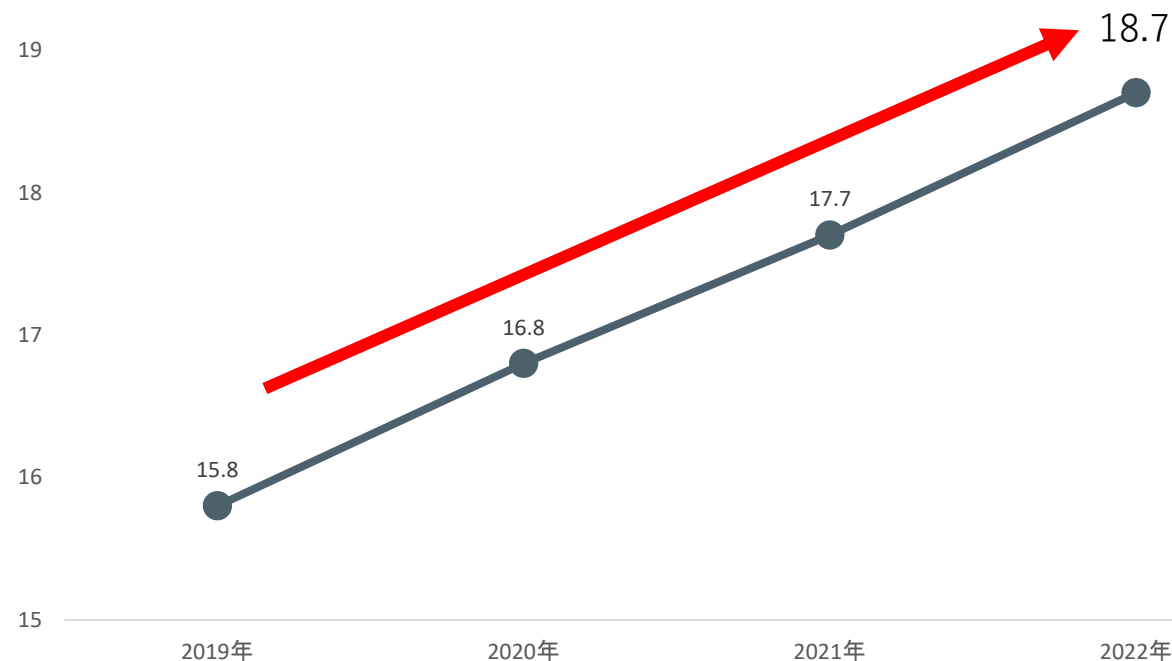
■ 各年に婚活サービスに新規加入をし、恋人ができた割合

(1次調査/恋人ができた恋愛もしくは結婚意向のある独身者/それぞれ単一回答)

※各年に婚活サービスを新規利用開始した人で恋人ができた割合

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

(%)

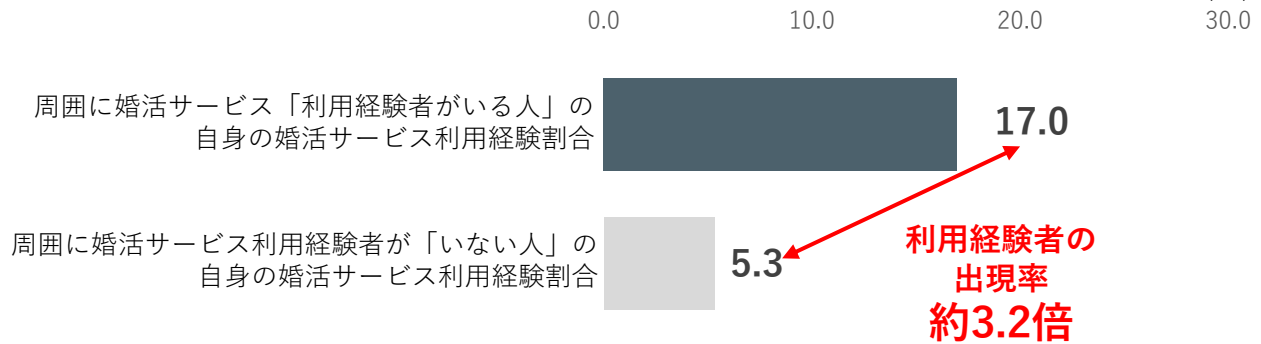


周囲に婚活サービスの利用経験者や利用により恋人または結婚ができた人がいる人は、いない人に比べて自身でも婚活サービスを利用したことがある割合が高い。

■ 自身の婚活サービス利用経験

(2次調査/恋愛もしくは結婚意向のある独身者/周囲の婚活サービス利用経験者の有無別/単一回答)

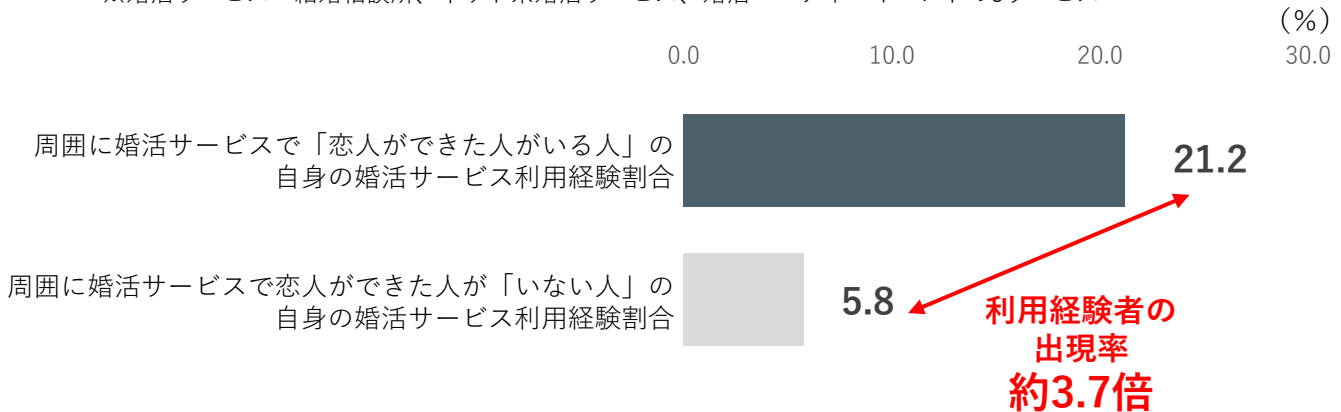
※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス



■ 自身の婚活サービス利用経験

(2次調査/恋愛もしくは結婚意向のある独身者/周囲の婚活サービスで恋人ができた人の有無別/単一回答)

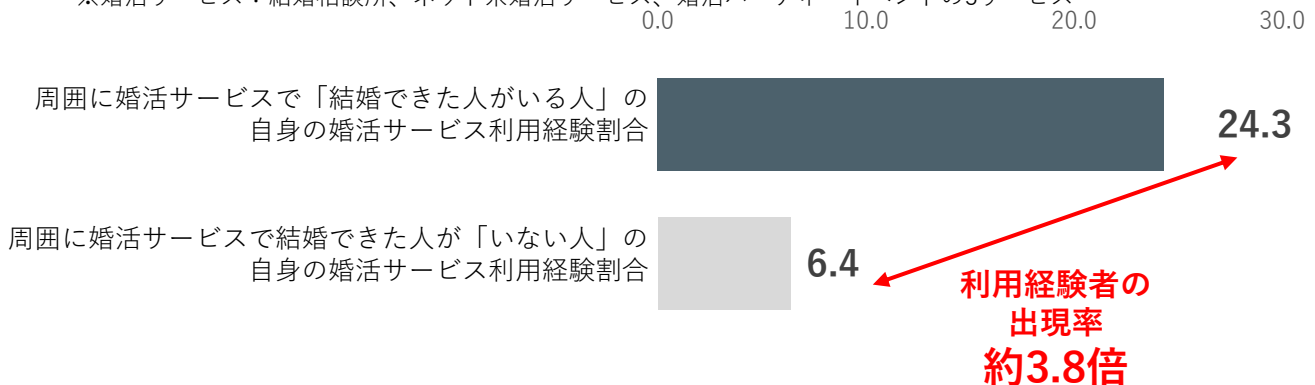
※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス



■ 自身の婚活サービス利用経験

(2次調査/恋愛もしくは結婚意向のある独身者/周囲の婚活サービスで結婚できた人の有無別/単一回答)

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス



婚活サービス非利用経験者における婚活サービスに対するイメージは向上。

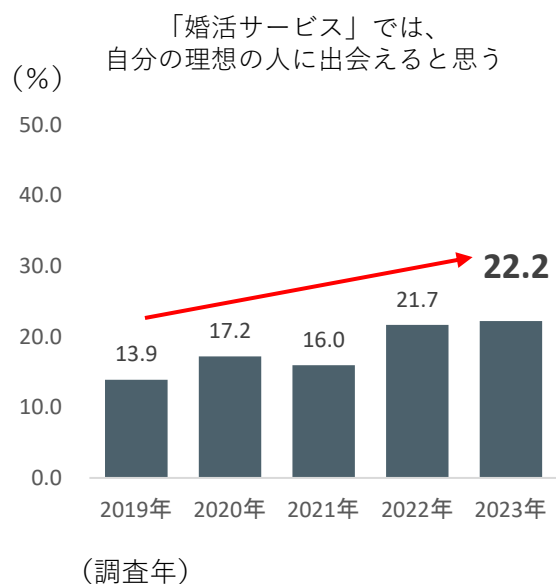
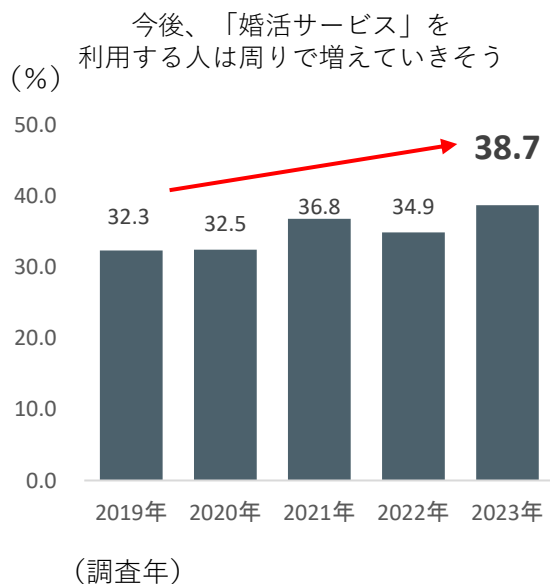
「今後、『婚活サービス』を利用する人は周りで増えていきそう」「『婚活サービス』では、自分の理想の人に出会えると思う」と答えた人の割合は、それぞれ長期的に増加。

■ 婚活サービスのイメージ

(2次調査/婚活サービス利用経験がない恋愛もしくは結婚意向のある独身者/それぞれ単一回答)

※婚活サービス：結婚相談所、ネット系婚活サービス、婚活パーティ・イベントの3サービス

※ややあてはまる、非常にあてはまる の計



リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/>

リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>